

## ウズベキスタンとの交流進展へ覚書 安倍総理の訪問に合わせ田川会長が調印

JATAの田川博己会長は10月25日、タシケントでウズベクツーリズムのファルウ・リザエフ総裁と、日本ウズベキスタン両国間の相互交流進展などに向けて協力を進めることを内容とする覚書に調印しました。

覚書の調印式は、日本貿易振興機構(JETRO)と日本・ウズベキスタン経済委員会が主催したビジネスフォーラムで行われ、日本側から約100人、ウズベキスタン側から200人が参加したフォーラムには、ウズベキスタンを公式訪問した安倍晋三総理大臣も出席して



覚書に調印する田川博己会長とファルウ・リザエフ総裁

ます。

同フォーラムでは、安倍総理に同行した企業や大学の代表ら15人がインフラ開発や資源・産業協力などについて発表しており、田川会長も「観光産業の発展」についてプレゼンテーションを行いました。

## 来年4月にサマルカンドへ チャーター便

田川会長は、来年4月に世界遺産の古都・サマルカンドへのチャーター便を通じて旅行者を送客する計画を明らかにし、成熟した日本の海外旅行市場で「Experience」を切り口に新しい商品開発に取り組み意向を示して、ウズベキスタン側の関係者らに協力を要請しています。

## 「観光は持続可能な開発の二環」 日本アセアンセンター、旅行業界との協働で

今年9月に開催された「ツーリズムEXPOジャパン2015」では、国際機関日本アセアンセンターとの共催により第1回アジア・ツーリズムリーダーズ・フォーラムが開催されました。

経済統合によって「ヒト」、「モノ」、「カネ」、「サービス」の移動が加速される東南アジア諸国連合(ASEAN)は、国際観光の牽引役となること  
が期待されています。  
ツーリズムEXPOジャパンでは、アジアのツーリズムの



日本アセアンセンターの藤田正孝事務総長

将来を担う行政と民間のリーダーが直接の対話を通じて、共通する課題を議論し相互理解を深めることを目指し、日本アセアンセンターの協力を得て、今回のフォーラムを開催しました。

同センターの藤田正孝事務総長は「日本とASEANの双方にとって、観光の価値はさらに高まっている」と指摘し、「観光産業の成長の勢いを維持し、開発の環にどう組み込んでいくかが重要だ」と強調。世界的に開発のバラタイムが今年8月に国連で採択された今後15年の国際目標である「持続可能な開発目標」へとシフトしていることを視野に、「日本アセアンセンターでは、観光を持続可能な開発の環として捉えて、旅行業界や政府関係の皆さんと一緒に政策や戦略を考えていきたい」と語っています。

### 北海道支部

- 11月24日 第2回国内小委員会を開催。
- 11月30日 第2回総務委員会を開催。
- 12月1日 第3回幹事会を開催。

### 東北支部

- 10月26日 第4回総務委員会を開催。
- 12月3日 第6回幹事会を開催。

### 関東支部

- 10月24日～26日 海外旅行委員会(マカ

オ)を開催。

### 中部支部

- 11月12日 国内旅行委員会を開催。
- 11月26日 幹事会を開催。
- 11月27日 総務委員会を開催。
- 12月1日 インバウンド委員会を開催。
- 12月4日 海外旅行委員会を開催。
- 12月8日 LADY JATA委員会を開催。
- 10月21日 第3回総務・消費相談委員会を開催。
- 10月23日 第3回空港委員会を開催。

### 関西支部

- 10月24日 自然環境保全活動「藤前干潟クリーン大作戦」を実施。
- 11月12日 第3回国内(訪日)旅行地域振興委員会を開催。
- 11月17日 第3回研修委員会を開催。
- 12月3日 第5回支部幹事会を開催。
- 10月23日 消費者相談委員会を開催。

### 中四国支部

- 10月22日 第2回総務委員会を開催。

### 九州支部

- 10月23日 第2回国内旅行委員会を開催。
- 10月28日 第3回海外旅行委員会を開催。
- 12月2日 弁護士による苦情対応セミナー(広島)を実施。
- 11月5日 海外旅行委員会を開催。
- 11月9日 国内旅行委員会を開催。
- 11月10日 海外旅行委員会を開催。
- 11月17日 国際旅行委員会を開催。
- 11月25日 総務委員会を開催。
- 11月26日 実務委員会を開催。